我が家の楽園（1938）

YOU CAN'T TAKE IT WITH YOU

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 127分
初公開日 1939/04
公開情報 劇場公開

【解説】

ブロードウェイのヒット芝居（Ｍ・ハートとＧ・Ｓ・カウフマンの『それを持っては行けない』）を「或る夜の出来事」の名コンビ、Ｒ・リスキンが脚色、キャプラが監督し映画化。オスカーの監督賞を得た風刺コメディの快作。冒頭、画面に賑やかに溢れる登場人物の多さにまずは面喰らってしまう。人生を楽しむ姿勢において共通する他人も含めて暮らす雑居家族なのだ。主のヴァンダホフ老（Ｌ・バリモア）は実業界で活躍していたが、余生を送る金があるのにこれ以上儲けても仕方ないーーと３０年前にあっさりと引退。その娘ペニーは絵描きだったのに、誤配されたタイプライターを得て以来戯曲に挑戦、孫娘エシー（Ａ・ミラー）はレスラー上がりのバレエ教師コレンコフに習っている踊りをそこら中で繰り広げる……といった具合。その妹アリス（Ｇ・アーサー）だけはまともに宮仕え、大軍需会社の御曹司トニー（Ｊ・スチュワート）の秘書を務めている。彼の父カービー（Ｅ・アーノルド）は資本主義の権化とも言うべき人物。工場拡張の予定地に一家の土地も引っかかるが、彼らは頑として立ち退かず、愛するアリスと父の間に立って気弱なトニーはうろたえるが……。楽天的なオチに、しかし、頷いてしまう夢のような余韻……。うれしい映画である。

【クレジット】

監督	フランク・キャプラ	Frank Capra	
製作	フランク・キャプラ	Frank Capra	
	モス・ハート	Moss Hart	
	ジョージ・Ｓ・カウフマン	George S. Kaufman	
原作	ジョージ・Ｓ・カウフマン	George S. Kaufman	
	モス・ハート	Moss Hart	
脚本	ロバート・リスキン	Robert Riskin	
撮影	ジョセフ・ウォーカー	Joseph Walker	
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	ジェームズ・スチュワート	James Stewart	トニー
	エドワード・アーノルド	Edward Arnold	カービー
	ジーン・アーサー	Jean Arthur	アリス
	ライオネル・バリモア	Lionel Barrymore	バンダーホフ
	アン・ミラー	Ann Miller	エシー
	ミシャ・オウア	Mischa Auer	コレンコフ
	スプリング・バイイントン	Spring Byington	
	ドナルド・ミーク	Donald Meek	
	ハリウェル・ホッブス	Halliwell Hobbes	
	ダブ・テイラー	Dub Taylor	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

サミュエル・S・ハインズ　Samuel S. Hinds
ハリー・ダヴェンポート　Harry Davenport
ウォード・ボンド　Ward Bond

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.